千葉市健康づくり推進協議会 第2回食育推進部会議事録

1 日時： 平成30年3月13日（火） 午後1時00分～午後2時40分

2 場所： 千葉市総合保健医療センター 2階 健康学習室

3 出席者： (委員)

渡邊智子部会長、大濱洋一副部会長、安藤裕子臨時委員、
石川進一臨時委員、伊藤和彦臨時委員、藏屋勝敏委員、小泉聖子委員
斉藤浩司委員、斎藤昌雄臨時委員、坂口いく子委員、菅野孝子臨時委員、
土屋和紀臨時委員、菱木操委員

※欠席委員：大久保雄子臨時委員、岡部明子委員、岸憲秀委員、
杉崎幸子委員

(事務局)

今泉健康部長、消費生活センター 宮内主査、
地域包括ケア推進課 富田課長、生活衛生課 前嶋担当課長、
保健所食品安全課 西村課長、幼保支援課 鈴木担当課長、
幼保運営課 五藤担当課長、廃棄物対策課 天野課長補佐、
農政課 佐々木主査、農政センター農業経営支援課 布川課長補佐、
農政センター農業生産振興課 浅野課長補佐、
稲毛保健福祉センター健康課 荒川課長、
教育指導課 中嶋課長、保健体育課 村杉担当課長、
生涯学習振興課 田島課長補佐、保健福祉総務課 前嶋担当課長、
健康支援課 阿部課長

※欠席：健全育成課

4 議題

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
- (2) 食に関する実態調査について
- (3) 第2次千葉市食育推進計画の評価について
- (4) 第3次千葉市食育推進計画骨子（案）について
- (5) その他

5 議事の概要

(1) 開会

事務局から、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨を説明。

(2) 部長挨拶

(3) 委員の紹介

(4) 議題1 部会長及び副部会長の選出

部会長に渡邊委員、副部会長に大濱委員が選任された。

(5) 議題2 食に関する実態調査について

平成29年度に実施した2つの調査について報告。

(6) 議題3 第2次千葉市食育推進計画の評価について

ア 関係団体及び庁内3課（農政課・保健体育課・健康支援課）よりの取り組みについての報告。

イ 第2次千葉市食育推進計画の評価についての説明を行い、委員及び臨時委員より意見を聴集。

(7) 議題4 第3次千葉市食育推進計画骨子（案）について

第2次計画を継続する、計画期間、基本理念、推進キャッチフレーズ、食育施策の展開等について、及び変更を予定している基本目標についての説明。

(8) その他

今後のスケジュールの説明と、新しい基本目標のキーワード「つながる食育」（連携）についての意見交換。

(9) 閉会

6 会議の経過（発言の全録）

（三橋健康支援課長補佐） お待たせいたしました。

定刻となりましたので、ただ今から、「平成29年度千葉市健康づくり推進協議会 第2回食育推進部会」を開催させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、健康支援課課長補佐の三橋でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本部会の開催につきましては、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第5条に基づき、委員総数17人のうち、13人のご出席をいただいておりますので、会議は成立しております。

なお、千葉市情報公開条例の規定により、千葉市の審議会などの会議は原則公開となっ

ておりますので、本会議につきましても、公開での開催とさせていただきます。

また、議事録につきましても、部会長の承認による確定後、千葉市ホームページなどで公開しますので、あらかじめお知らせいたします。

それでは、部会に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

- 1 次第
- 2 千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会 委員名簿
- 3 千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会 事務局出席者名簿
- 4 食に関する実態調査結果（速報）一般市民対象について
- 5 食に関する実態調査結果（速報）幼稚園保護者対象について
- 6 関係機関における食育推進の取組み一覧表
- 7 第2次千葉市食育推進計画取り組みに関する評価と今後の方向性
- 8 第2次千葉市食育推進計画数値目標 進捗管理表
- 9 第2次千葉市食育推進計画について（概要）
- 10 第3次千葉市食育推進計画（仮称）の骨子案について
- 11 第3次計画期間と策定スケジュールについて
- 12 国の第3次食育推進基本計画に係る調査結果（暫定値）
- 13 第3次食育推進基本計画（農林水産省）
- 14 第2次千葉市食育推進計画
- 15 千葉市食育&消費者教育情報誌「おいしくタベル たのしくマナブvol.3」
- 16 千葉市健康づくり推進協議会設置条例
- 17 食育推進部会について

資料につきましては以上になりますが、過不足などはございませんでしょうか。

それでは、部会の開催にあたりまして、保健福祉局健康部長の今泉よりご挨拶を申し上げます。

（今泉健康部長）健康部長の今泉でございます。本日は皆さんお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。皆様には日頃より本市の保健衛生行政に、また食育の推進に多大なるご理解ご協力をいただいておりますことを改めまして御礼申し上げます。

千葉市では関係者の皆様の連携・協力の下で平成26年から5か年の計画として第2次食育推進計画を作っておりまして、この計画に基づいて食育に関する様々な取り組みをさせて頂いております。来年度は計画の最終年度となりますので、本日の議題のメインにもなりますが、今年度は来年度の計画策定に向かって評価を行いまして、その結果を踏まえ、国、県の計画を参考にして、第3次食育計画を策定していくこととしております。食育とは生きる基本であり、様々な経験を通じて、食に関する知識とバランスの良い選択する力

を身につけ、健全な食生活を実践できる力を育むことと定義されております。様々な取り組みを進めていくためには行政だけでなく、農林水産業を食育関連ボランティア等様々な方と連携しながら進めていく必要がございます。

様々な分野団体を代表する方々がお集まりいただいておりますこの部会は、非常に大事な機会だと考えております。本日は先ほども申し上げましたが、第2次の食育推進計画の評価と、次期の計画の骨子案について議題とさせていただきます。皆様から様々なお立場から忌憚のないご意見をいただければ思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(三橋健康支援課長補佐) 続きまして、本日は、平成29年度の第2回目の開催ではありますが、委員の交代がありましたので、委員の皆様をご紹介します。

大変恐縮ではございますが、名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、その場でご起立をお願いいたします。

日本チェーンストア協会関東支部 安藤臨時委員

千葉県幼稚園協会 石川臨時委員

千葉みらい農業協同組合 伊藤臨時委員

千葉県医師会 大濱委員

公募委員 藏屋委員

千葉県小中学校長学校運営協議会 小泉委員

千葉県歯科医師会 斉藤委員

千葉県畜産協会 斎藤臨時委員

千葉県食生活改善協議会 坂口委員

千葉県保育協議会 菅野臨時委員

千葉県PTA連絡協議会 土屋臨時委員

千葉県食品衛生協会 菱木委員

千葉県立保健医療大学 渡邊委員

続いて、

生活協同組合コープみらい 大久保臨時委員

千葉県歯科衛生士会 岡部委員

千葉県幼稚園協会 岸委員

千葉県栄養士会千葉地域事業部 杉崎委員

の皆さんにつきましては、本日は欠席のご連絡をいただいております。

以上でございます。

事務局の職員につきましては、お手もとにお配りしております、名簿により紹介に代えさ

せていただきます。

それでは、これより議事に入らせていただきます。最初に、議題1「部会長及び副部会長の選出について」でございますが、会長が決まるまでの間、事務局でございます保健福祉局健康部長の今泉が議事の進行を務めさせていただきたいと存じますがよろしいでしょうか。

<異議無し>

それでは今泉健康部長よろしくお願いいたします。

(今泉健康部長) 皆様のご承認をいただきましたので、部会長、副部会長が選任されるまでの間、議事の進行を務めさせていただきます。自席で失礼いたします。

議題1「部会長及び副部会長の選出について」ですが、部会長、副部会長の選出方法につきましては、設置条例第7条第7項の規定により、委員の互選によることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

(菅野臨時委員) 部会長には、食育について幅広い知識と経験をお持ちであり、千葉市の食育推進計画の策定にもご尽力された、県立保健医療大学 教授の渡邊委員にお願いしたいと思います。また、副部会長は、千葉市の健康づくりにご尽力されている千葉市医師会副会長の大濱委員にお願いしてはいかがでしょうか。

(今泉健康部長) ただ今、菅野委員から、部会長を渡邊委員に、また、副部会長を大濱委員にとのご提案がございましたが、いかがでしょうか。

それでは、部会長に千葉県立保健医療大学の渡邊委員、副部会長に千葉市医師会の大濱委員にお願いしたいと存じます。

それでは、渡邊委員と大濱委員には席の移動をお願いいたします。

それでは、お二人に就任のご挨拶をいただきたいと思います。最初に渡邊部会長お願いいたします。

(渡邊部会長) 渡邊でございます。皆様のご推薦を受け、部会長をさせていただきます。より良い千葉市の計画が出来るよう皆さんと協力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(今泉健康部長) 続きまして、副部会長の挨拶をいただきたいと思います。

(大濱副部会長) 皆様のご推挙により副部会長を仰せつかりました。千葉市医師会副会長の大濱と申します。渡邊部会長を補佐して部会を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(今泉健康部長) それでは、渡邊部会長進行をお願いします。

(渡邊部会長) それでは、議事の進行を務めさせていただきます。

議題2「食に関する実態調査」について、健康支援課より説明をお願いします。

(阿部健康支援課長) 昨年の9月に実施しました、「食に関する実態調査」について報告します。この調査は、第2次計画の評価と、第3次計画のベースライン値を調べるために行いました。2つの調査を実施しました。

(阿部健康支援課長) 資料1-1をご覧ください。実施期間は昨年の9月～10月です。無作為抽出した15歳以上の市民3,000人に調査票を郵送し、回収率は44.4%でした。

調査内容については、第1回目の食育推進部会でお示した調査票も最終ページにつけてあります。

資料1-2をご覧ください。同じく昨年の9月～10月に行った、幼稚園児の保護者対象の調査です。幼稚園協会にご協力を頂き、代表の10園に通う1,508人の保護者に調査票を配付し、回収率は81.4%でした。本日は、速報値の単純集計のみ配付させていただきました。現在、委託業者が報告書を作成中です。

この結果を、第2次計画の評価に活用するとともに、本市の食の実態を捉えて第3次計画の策定や今後の事業の取り組みに活かしていきたいと思います。

(渡邊部会長) 食に関する実態調査について、何かご質問はありますでしょうか。

それでは、議題3「第2次千葉市食育推進計画の評価(案)」について、まず初めに、現在推進しております、第2次食育推進計画について、健康支援課より説明をお願いいたします。

(阿部健康支援課長) 事務局より、現在、関係課や関係団体の協力のもと推進しております、第2次食育推進計画についてご説明します。第2次千葉市食育推進計画本編をご覧ください。

計画期間は、平成26年度から30年度の5年間です。

24ページをご覧ください。基本理念は、「子どもから大人まで、市民一人ひとりが「食」を大切にし、正しい知識と選ぶ力を身に付け、健全な食生活を実践することで、「こころ」と「からだ」の健康と豊かな人間性を育むこととしております。

3つの基本目標には、それぞれ重点取り組みを位置付けています。

1点目、「『食』を大切にする心の育成」には、「一緒に食べる『楽しい食卓』」を位置づけ、2点目、「『食』の理解と実践」には、「食から始まる『健康づくり』」、3点目の、「『食育』の『輪』の展開」には、「食で育む『地域のつながり』」を位置付けてあります。

27ページをご覧ください。また、5つの施策を展開し、関係課の各事業が位置付けられています。

第2次計画から、推進キャッチフレーズ「おいしいね、たのしいね、たべるってだいじだ

ね」を設定しています。

(渡邊部会長) それでは、第2次計画での取り組みや今後の方向性について、資料2、資料3の報告をお願いします。

まず、資料2「関係機関における食育推進の取り組み一覧表」をご覧ください。

委員の皆様が所属される団体の、今年度の活動報告と今後の方向性もありましたら、2～3分程度いただきたいと思います。本日は審議内容が多く、お時間が短く申し訳ありません。資料の順に、報告をお願いします。

(安藤臨時委員) 29年度の実施事項に関しましては、主に健康に関する食ということで、健康に関する色々な情報を市民の皆様にご覧いただくような取組をさせていただいております。

イオンのマリンピア店で、昨年、モールウォーキングを始めました。店内を歩かせていただいて、店内のタッチパネルをタッチするとポイントがつくというイベントを1年間実施させていただいております。毎月15日には、ウォーキングの教室をしています。

その他に毎月1回、栄養士さんに学ぶ「美味しい元気食セミナー」というものを実施させていただいております。食に関するいろんな知識を市民の皆様にご覧いただけるように努力しております。

それから幕張新都心で7月15、16日に千葉市様とエーザイ様とイオンとで健康に関する取り組みということで、ちば健康サポートフェアを実施しました。10月14、15日にも健康に関する取組ということでイベントを実施させていただいております。10月には、シェフパートナーズと言いまして、有名シェフの方に集まらせていただいて、色々な料理に関する知識をいただこうというグループがあるんですけども、メンバーの古賀様から野菜くずを捨てるなんてもったいないということで、野菜くずを集めて煮詰めて、美味しいスープの作り方、試食会というものを実施いただきました。それから野菜ソムリエの王さんの講演会とか食育イベントを実施させていただいております。以上です。

(石川臨時委員) 当協会では、食育の取り組みとして、各園、協会を含めて色々な取り組みをしておりますが、今年度の食育のつどいでは当協会の都合で展示の本を省略して、ステージでは「皆で踊ろう！野菜ダンス」というダンスをしながら、食べ物のことについて幼児と学ぼうという形で実施させていただきました。食育の集いにも例年参加させていただいておりますが、今回も各園において、食べるということというのは人間が生きる上で大変重要なことなので、各園含めて、協会としても、とても大切な一部として捉えて、各園独特の食の教育をしているところでございます。

(伊藤臨時委員) 3点ほどございますけど、出張授業ですね。千葉市は春夏人参の産地でございます。人参の播種から流通まで、生産者に来ていただきまして出張授業を行いました。

た。キャベツ、小松菜についても行ったわけでございます。

食育・食の活動につきましては、小学生を対象に田植え稲刈り。特に稲刈りでは、おむすびパーティーも実施しております。あとは郷土料理でございませうけれども太巻き祭り寿司の体験実施ということで6校365名を対象に実施させていただきました。以上です。

(阿部健康支援課長) 本日欠席の、生活協同組合コープみらいについては、「食育出前授業」や「コープみらいフェスタ きやっせ物産展」などの報告をいただいております。

続いて、本日欠席の、千葉県歯科衛生士会については、「かむ子・のびる子・元気な子料理コンクール」「いい歯のイベント」等の報告をいただいております。

(小泉委員) 今回は食育のつどいにおきまして、千葉市学校栄養士会と連携しまして「見て聞いてもっと知って学校給食」をテーマに、展示ブースを設けました。内容は学校給食年表と献立サンプル、特色ある給食の紹介。例えばフルーツバイキングや卒業バイキングの献立を紹介しました。生きた教材としての学校給食の実践例、地場産物の活用献立の展示。学校給食週間と食育月間の献立レシピを配布しました。ブースには531人の方が訪れ、高齢者からは「今の給食は美味しそう」とか、児童や保護者からは「先日食べておいしかった」「バイキング給食は子供達が楽しみにしている」等の話を聞くことができました。未就学児の保護者からは、食物アレルギー対応の質問があり、学校給食での対応を伝え、安心してもらうことができました。中には、農政課による市内産の人参の話を聞いた後、今回の地場産物の献立を興味深く見ている方もいて、広い世代に学校給食の普及啓発ができたと思っております。以上です。

(斎藤臨時委員) 農政課、千葉酪農協と連携して、生産者による出張授業を行っております。子牛が生まれてから生乳が生産され給食に届くまでの過程を講義し、小学生の牛乳に対する理解を深め、消費の拡大を図っています。今年度は星久喜小学校、高洲小学校の2校で行っております。

本来でしたら、生産現場、各牧場に来てもらって、動物に触れあってもらう方が、より理解してもらえるのですが、伝染病予防の観点からまだまだなかなかその実現が難しいのが現状です。以上です。

(坂口委員) 食生活改善推進員、愛称ヘルスメイトと申します。市内に約300名おりますが、各区健康課のもとで、地区伝達活動を行っております。活動内容としましては、育児サークルでの試食提供や小学校の簡単パンづくり、また放課後教室の依頼、男性料理教室、高齢者のための料理教室など、子どもから高齢者まで幅広く食育を行っております。協議会としましては、取り組み一覧表の8番をご覧いただきたいと思っております。

食育のつどい、それから市民健康づくり大会に例年通り参加しております。各ブーステーマに沿って工夫して行っております。

(3)の千葉県立保健医療大学学園祭について詳しくご報告いたします。若い世代への活動の取り組みを今年度から力を入れていきたいと考えておりましたところ、渡邊先生のご協力をいただきまして、初めて保健医療大学の学園祭に参加することができました。ありがとうございます。

ブースを設けていただき、そこでは1日に必要な野菜350gの量が、どの位のものなのか量っていただく計量体験をしました。また野菜の芽や実、葉っぱ等の写真を見せて、その野菜が何かを当てる野菜クイズは、皆さんに好評でした。学生さんたちやそこにいらした方々に、野菜に興味を持っていただけたことと思います。以上でございます。

(菅野臨時委員) 千葉市の方より研修委託を受けておまして、千葉市認可保育施設と公立保育所が手と手を取り合って資質向上を図っているというところがございます。食育に関しましては6月11日には食育のつどいで関係団体と協力しあいまして給食展示ブースにて、保育所保育園の給食レシピを配布しました。また大型絵本、栄養士による「みどりの国」に遊びに行こうよ」というタイトルで、大型絵本を公開しております。子どもたちにより良い食生活、保育所の給食をメニューによってお知らせすることで、家庭においても食育がさらに進むように務めております。以上でございます。

(阿部健康支援課長) 千葉県栄養士会については、本日欠席ですが、「食育のつどい」「食育・健康料理教室」についてご報告を頂いております。

(菱木委員) 食品安全課のご協力のもと、毎年、食中毒予防について健康フェア(市民健康づくり大会)でダーツを投げながら、お子さんと一緒に「食中毒に気を付けましょう」という行事をやっています。2年くらい前まで手洗いマイスターと言う機械を使って手洗い指導も行っていたので、また、何年かでもう1度やってみたいと思っております。以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。どの取り組みも魅力的で千葉市に住んでいるといいことがありそうだなと思えました。最後に12番の千葉県立保健医療大学の食育応援隊の取り組みについてご報告させていただきます。

ここに書いてありますように1~9の取り組みを学生と一緒にやっておりますが、特に6番の本学の学生による食育ですね。「保医大ご飯カフェ」というものを行っております。学生は自分で料理をしたりバランスよく食べるということが少ないものですから、そういったことも含めて2ヶ月に1回ほど学食で簡単なメニューを提案し、どのように作ったら良いかということレシピで配布しております。

そのうちの一つで、学園祭でもカレーを上手にアレンジして、食べてみようというのをやったんですけど、同じフロアでヘルスマイトさんが野菜を量ろうというコーナーだったのでとても連携できて良かったなと思っております。

それから8番の千葉市内の5か所の団地に、食育応援隊だけではなくて、教員の理学療法士の先生、運動の先生、栄養士、歯科衛生士がチームになって20分程度の教室を開きます。栄養チームは、学生と一緒に食事調査を行いました。年齢が高くなるほど個人差が大きいのということの実感や、人によって食べ方が違うので、ちょっとしたアドバイスで十分工夫していただけることがわかりました。

(渡邊部会長) 資料2の報告は以上です。時間の都合でご報告を頂かなかった団体の方から、資料2に載せていない活動の補足などありますでしょうか。

それでは、資料2関係機関の取り組みについて、ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

<質問なし>

続きまして、資料3について、事務局から説明をお願いします。

(阿部健康支援課長) 資料3と、あわせて、先ほど説明しました第2次千葉市食育推進計画の本編27ページをご覧ください。「5つの施策展開」について、32ページから、食育に関わる19の課による90の取り組みが5つの施策の柱ごとに掲載されています。この取り組みについて、第2次計画策定時から現在までの振り返りをしたものが、資料3になります。これらの取り組みを充実させることで、食育推進計画本編28、29ページの数値目標につながることを目指して取り組んでまいりました。

(渡邊部会長) 資料3について報告をいただきますが、取り組みがたくさんあるため、特に第2次計画の数値目標を所管している課の中から、3課の農政課、保健体育課、健康支援課より、第2次計画期間に特に力を入れた取り組みについてご報告をいただきたいと思っております。

はじめに、農政課からお願いします。

(佐々木農政課主査) 農政課の佐々木と申します。本日は課長が所用のため、代理で出席させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。農政課の取り組みといたしましては、特に地産地消につながる食育の取り組みを紹介させていただきますけれども、資料の7ページをご覧ください。

地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進といたしまして市内産農産物への利活用、理解の促進ということで取り組んでおります。

66番になります。生産者による出張授業、今、千葉みらい農協様、千葉市畜産協会様からご紹介をいただきましたが、そちらの団体さんですとか教育委員会保健体育課と連携いたしまして、生産者出張授業を実施しております。こちらの取り組みはこの計画事業の中で、平成26年度から野菜に加えまして牛乳の授業を実施に加えしました。さらに野菜の授業に関しましては生産者の方にお越しいただいておりますので、どうしても野菜の収穫

時期に当たってしまいますので、年に1回、1品目1回というところの実施です。牛乳に関しては畜産協会様、千葉酪農協様のご協力で年2回実施することで6区、各1校で1回ずつ実施することができました。

また千葉みらい農協様、千葉酪農協様にご協力頂きまして、生産者出張授業の学習資料を作成しております。野菜の種をまいて収穫して流通に乗って給食に届くまで。牛が生まれて牛乳が出来てパッケージされて届くまで。生産者出張授業は110数校ある中で年に6校しかできないという限界がございますので、ホームページに掲載していただき、学校の授業でご活用いただけるように致しました。

62番の取り組みをご紹介します。地産地消キャンペーンの開催と推進ということで、市内産農産物を栄養価の高い旬の時期に食べていただく、まず千葉市の農業を知っていただいて、地元の農産物を買って食べていただく機会を創出する地産地消キャンペーンを実施いたしました。中でも包括的協定に基づき、企業様と連携させていただきました。千葉市フェアの開催ですとか。経済農政局の方では、市原市、四街道市と経済連携というのを進めております。そういったものを活用し3市連携キャンペーンを行ったりですとか、それから、幼稚園協会さんにもご協力いただき幼稚園ふれあい市ですとか、様々な機会を通じて地産地消を進めていくキャンペーンを実施させていただきました。

それから8ページをご覧くださいませでしょうか。63番となります。市内産農産物の販売促進ということで、第2次計画の中では、今ご紹介したキャンペーンというのは農産物を購入していただくということに力を入れていたんですけれども、平成27年からになりますけれども、地産地消推進店ということで、市内の飲食店様に市内産農産物を使っていただくような事業の取り組みを初めまして、「千葉市つくたべ」という形ですすめており、「つくたべ推進店」ということで登録を始めております。

今までの買える場所に加えまして、千葉市内農産物を食べられる場所、買える場所の情報の見える化を図っております。今後も継続して推進していく計画です。農政課からは以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。関係団体や市を越えて連携して食育をしているなというのが良く分かりました。「つくたべ」とはどういうことですか。

(佐々木農政課主査) 千葉市で作って、千葉市で食べるということを文字りまして、「つくたべ」という愛称でプロジェクトを進めさせていただいておりますが、「千葉市で作って」の中には農畜産物を作る生産者の方、それからそれを美味しいお料理にする方、そしてそれを食べる消費者、千葉市に住んでいる方、それから千葉市を訪れる方、その方たちと一緒に、幸せの輪っかを広げていこうという意味を込めております。

(渡邊部会長) ありがとうございます。幸せにつながっていくということですね。続

いて、保健体育課からお願いします。

(村杉保健体育課担当課長) 教育委員会保健体育課でございます。お手元の資料5ページをご覧いただけたらと思います。学校等における食育の推進についてご説明させていただきます。

41番をご覧ください。食に関する指導ということで学校におきまして皆さん聞き慣れないかもしれませんが、栄養教諭という職種の先生がおります。食育を担当する教員資格を持った職になるのですが、この者を中心として学校における食育を推進しております。学校では年間185回の給食を提供しておりますので、この給食管理と合わせて食に関する指導というものを一体として職務として行う栄養教諭が配置されておりますので、この配置を推進ということで進めております。41番の右端の方に増加を図るということで平成26年が20名だった栄養教諭が今年度で34名まで、学校に配置している栄養教諭でございますけど、この者が中心となって食育と給食における食の勉強というか考え方を提供しているということになります。

合わせて、その下に42番とございますけど、学校における食育ということで、給食だけでなく特別活動であったり教科であったり、総合的学習であったり、色んな場面で食に関する学習をするような全体計画を作成してほしいといったことで、各学校におきまして、これもやはり栄養教諭が中心となって食に関する全体計画を全ての小中学校で作成をさせていただいております。給食に関することを若干補足で説明させていただきたいのですが、次のページの6ページにある46番、47番あたりになるんですが、給食を通じた食育の充実ということで、46番にあります特色ある学校給食ということで、子どもたちに食に関する興味関心を持ってもらいたいという事で、地域の方をお招きするような招待給食であるとか、今まさに卒業シーズンですが、卒業に合わせてバイキング給食といった特色ある給食というものを実施しております。

そしてこれは農政課との連携になるんですけれども、47番にある通り地元の農産物を使って給食を提供していこうということで地元の農家さんのにんじんであるとか地元産農産物を学習をしながら食べることで知識を深めてもらうということで、食育の日や市民の日などで地元農産物を使った特別メニューというものを提供しております。雑駁な説明ですが、以上でございます。

(渡邊部会長) ありがとうございます。本学でも栄養教諭を養成しております、千葉市にもずいぶん採用していただいております。栄養教諭が各学校に1名配置されるとすごく食育の推進になると思いますし、千葉市はほとんどの学校が自校給食です。これは、食育ということの意味では良いことだなと思っておりますので、これからもぜひそのようにお願いしたいなと思います。

(阿部健康支援課長) 健康支援課から報告します。

健康支援課からは、国の第3次基本計画が示されて強化を図った、「若い世代への食育」と、「関係者の連携」について報告します。

1点目は、No5「若年者を対象とした食育の推進」です。平成27年度から3カ年にわたり、今日お手元にも配付いたしました、食育&消費者教育情報誌「おいしくタベル たのしくマナブ」を作成しました。平成29年度は、全児童のみでなく小学校教諭にも全数配付することでより広く情報提供をすることができました。関係各課だけでなく、市内の管理栄養士養成大学とも連携を図り、市内生産者への取材を行い地産地消の推進につながる記事を作成したり、火を使わないレシピ等の作成を行いました。関係課の皆さん御協力ありがとうございました。

配付するだけでなく、児童の反応や小学校での活用状況を把握し、次回作成時の参考にするため、アンケートを実施しました。子どもにも理解しやすいようクイズやワークシートを取り入れたり、イラストを多くしたことにより、熱心に読む児童が多く見られました。小学校でも給食の時間や学級活動で話に取り入れてくださった学校が約半数あり、忙しい中、時間を作って活用していただきました。児童から読んだ感想を聞いたり、一緒に読みあったり、子どもたち自身に考える場を与えたりと、学校により様々な工夫をしてくださいました。教員からの感想も、食育について考える機会になった、子どもたちと一緒に考えられてよかった等、前向きな意見が多くありました。

また、保護者向けにもアンケートを実施し、よく読んでくださったことが伺えました。

今回のアンケート結果をもとに、より良い内容にして作成していきたいと考えております。

2点目、No84「食育のつどい」につきまして、千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体と、庁内各課の協力を得て開催してきました。

広く食育の普及啓発を図るために、多くの市民に参加していただけるよう会場を毎年変え、市内商業施設にご協力いただき6区を順番に回り開催してきました。毎年、来場者も大変多く、子ども連れの親子から高齢者まで、食育の普及啓発を行ってきました。関係団体や、庁内関係課にも、展示やステージなどを実施していただき、楽しみながら食について学べるイベントとすることができており、また、連携を図る良い機会となっております。今後も引き続き各区を回り開催していく予定ですので、ご協力よろしく願いいたします。

(渡邊部会長) ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問はありますか。

続きまして、第2次千葉市食育推進計画評価の数値目標の評価(案)について事務局より説明をお願いします。

(阿部健康支援課長) 資料4をご覧ください。

第2次千葉市食育推進計画の数値目標の評価に関しては、毎年進捗状況の報告をさせていただいていますが、今回は、一部調整中の数値もありますが、平成29年12月末までに頂いた最新値をもって、第2次計画の評価と考えています。

表は左から順に、数値目標となっている「項目」、便宜的につけた「指標番号」、「対象」、「所管課」、2次計画策定時の「ベースライン値」、「目標値」、「調査年度」、そして、評価案として、「最新値」、「調査年度」、「事務局評価案」、「出典」、一番右には、参考として今年度行っている、本市の健康増進計画である「健やか未来都市ちばプランの中間評価のデータと評価」です。

これらの数値目標を所管している課は、健康支援課、幼保運営課、幼保支援課、保健体育課、農政課、の5課となります。

資料4の青色の「最新値」と赤色の「目標値」を比較して、事務局評価案として、目標達成は◎、目標に向かって改善は○、ほぼ変化なしは△、悪化は×としました。数値目標の評価結果としては、目標達成(◎)9指標、目標に向かって改善(○)12指標、ほぼ変化なし(△)7指標、悪化(×)3指標となり、おおむね良好でした。

項目ごとの評価について、ご説明させていただきます。

1「食育の関心」です。調査結果では、策定時77.2%から最新値が64.2%と低くなりました。実際、様々な関係機関や関係課でも食育が推進されているのですが、市民の関心が低くなってしまった理由は、「食育」の意味が伝わりにくいためか、2次計画策定時より「食育」という言葉を耳にする機会が減ってしまったためか、今後検討していきたいと思います。

2「共食(一緒に食べること)の増加」です。本市では、「一人で食べる子どもの割合」で評価しています。

おおむね良好でした。小学生の数値については調整中です。

3「朝食を欠食する市民の割合の減少」も、おおむね良好でした。幼児の目標値が0%と低く設定されているために、保育所、幼稚園については変化なしとしました。

4「肥満者の割合の減少」は、40から60代女性を除き良好でした。

5「20代女性のやせている人の割合の減少」も、目標を達成しました。

6「メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合の増加」については、変化なしでした。この指標は、国の3次計画でも、「生活習慣病予防のための減塩・適正体重の維持」に変わって継続されますので、本市においても、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

7「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増

加」は、目標に向かって改善しています。

8「野菜摂取量の増加」は、微増で変化なしとしました。

9「60代の咀嚼良好者の割合の増加」は、目標を達成しました。

10「食生活改善推進員の増加」ですが、本日も坂口委員がご出席されていますが、平成29年度は290人の方が活発な食育活動をされています。残念ながら、現時点では目標の330人には届いていませんので、変化なしとしました。

11「学校給食における市内産、県内産農産物の使用割合の増加（重量ベース）」は、中学校については、目標達成となりましたが、小学校においては、平成28年度は策定時より割合が下がりました。

小学校は、10校を抽出し調査した1年間の結果であり、近隣の小売り業者より食材を購入していることから、収穫量等の影響もあり、割合%は下がりましたが、29年度は39%の見込みです。

12「販売店での市内産農産物畜産コーナーの設置数の増加」は、目標に達成しました。

13「地産地消キャンペーン回数の増加」は、農政課が大型の直売所と協力して実施し、現在はそれらが独自の活動となり、手を離れたため、平成28年度の回数は減少しましたので、変化なしとしました。計画期間中には、回数を大きく上回る年もあり、イオンやそごうなど市民へのPR効果の高いキャンペーンを開催しています。以上です。

（渡邊部会長）資料4第2次千葉市食育推進計画の数値目標の評価について、ご質問・ご意見はありますでしょうか。

それでは、議題4に移ります。資料6第3次千葉市食育推進計画骨子案について、事務局から説明をお願いします。

（阿部健康支援課長）平成31年から推進する第3次計画の骨子案について説明します。

まず、「計画期間」については、資料7をご覧ください。引き続き現状の5年間の計画期間を考えております。国の基本計画より3年、策定期間がずれておりますが、総合的に検討した結果、国の計画、県の計画、市の健康増進計画「すこやか未来都市ちばプラン」との整合性を計りながら策定し、今までと同様に新しい国の施策などを取り入れ、推進していきたいと考えます。

資料6 2「これまでの取り組みの評価と課題」として、

1「食を取り巻く現状と課題」には、生活習慣病の増加や、急速な高齢化などが挙げられます。これらに併せて、「食に関する実態調査結果」などを活用し、千葉市の現状を更に分析します。

2「基本目標の評価」については、今後の課題として、「食育の関心の低下」、「40～69歳女性の肥満の増加」、「野菜摂取量の適正化」が挙げられます。「健やか未来都市ちばプラ

ン」の中間評価で重点項目となった「食塩摂取量の低下」についても、食育推進計画の中で併せて取り組む必要があります。

3「食育施策の取り組み状況」としては、5分野90事業の食育施策を推進し、2-4「数値目標の達成状況」としては、現在調整中の4指標以外では、達成9、改善12、変化なし7、悪化3と、概ね良好な結果が得られました。改善が見られた項目についても、必要に応じて引き続き取り組みの継続を行っていきたいと考えます。

続きまして、資料5の第2次計画の概要と、資料6の第3次計画の骨子案を比較してご覧ください。

変更点として、資料6の第3次計画の骨子案では、3-2「基本目標」の見直しを行いました。その他、3-1「基本理念」、3-3「推進キャッチフレーズ」、4「食育施策の展開」、5「ライフステージに応じた食育の推進」、6「計画の推進にあたって」については大きな変更はありません。

国の基本計画のコンセプトとして、1次計画は、「周知」、2次計画は、「周知と実践」、3次計画は、「実践の輪を広げよう」となっており、本市としても、今まで培ってきた食育の輪（つながり）を更に広げていきたいと考えています。

今回変更となる、2の「基本目標」について説明します。

第1次計画から第2次計画までは、資料53章の2にあるように、1「食」を大切にす
心の育成、2「食」の理解と実践、3「食育」の「輪」の展開の3つの基本目標として推進していました。

国の第3次食育推進基本計画の5つの重点課題を踏まえ、また、健康寿命の延伸には地域のつながりや人のつながりが大切であるといわれていることから、「つながる食育」という言葉を本市のキーワードとし、新たな3つの目標、1健康寿命の延伸につながる食育、2生産から食卓までつながる食育、3地域や関係者がつながる食育としました。食を通して地域のつながりをつくり、地域や関係者が更につながり様々な食育の取り組みが行われることで、生涯にわたる健康寿命の延伸や、次世代への食育につながっていくという構図です。

今月中に、事務局内で文言の調整等を行う予定ですので、ご助言ありましたら、よろしくお願いいたします。

（渡邊部会長）計画期間、計画案の内容について、質問やご意見がありましたらお願いいたします。

（土屋臨時委員）今まで培ったものを今後も活用していくという話ですが、アンケート調査を皆さんが別の団体で取られた時に100%正しく答えていますか？答えない事も多々ありますよね。健康診断の時に、たばこを1日何本吸っていますかと聞かれて、30本の人は20本と答える傾向があります。朝食は週に4回なのに5回って答える傾向がありま

す。特に日本人は。アンケートで培ってきた情報でこういった会議をしてきて、実施してきたことに何の意味があるのかなど。精査を出来ているのか疑問を感じます。

回答率が44.4%でこのアンケートに返事をしたのは自信のある方で、返事をしていない55.6%の方は自信がない方、興味がない方という方が問題で、大事なんだと思うんですね。興味のある方だけで集まった結果で、なんとも分からない微妙なところを真に受けて。このような調査ですすめている協議会では、意味がないのではないかと思います。

(渡邊部会長) 例えば資料4は、肥満者の割合の減少は28年の定期健康診断している結果で、根拠がありますよね。

(土屋臨時委員) 根拠があるものはいいですよ。

(渡邊部会長) 私は調査の時には自分の事は正しく書きますし、学校ではそのように教育しています。実態が分からなければ、色んな施策は全部アンケート結果が正しいとして考えていくわけですから。国が丁寧に調査するときには、国民は協力して正しい評価ができるようにアンケートには答えていきましょうと、小さい頃から言われているのではないかなと思います。皆が皆、上乘せして書いているわけではないので、ベストを尽くして調査をして、それに基づくということなので。

(土屋臨時委員) 良くしようとしているからこそ、少し脇をしめて考えるべきじゃないんですか？

(今泉健康部長) ご意見ありがとうございます。おっしゃる通り、こういうことに正直に答えるかどうかということは別にして、答える方自身がすでに関心が高かったり、答えてくれた方の結果が本当に千葉市民の実態を示しているかということ、そこは判断が難しいかと思います。

実態をどう掴むかということが課題ですので、現状では直接聞いてみるというのを元にして進めているのが中心になっています。アンケートの数ですとか、有効回答数ですとか、そういうものの調査の方法がありますので、そこに準拠して現状を把握したいと思っております。答えてない人、正直に答えてない人に働きかけないといけないというのは、本当はそうなんですけれども、なかなか少しずつしか改善できない部分で課題なのですが、そういった部分もご意見頂き反映していけるところを考えていきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

(渡邊部会長) それでは他にご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

(石川臨時委員) 今の質問はとても良いお話だと思うんですね。それにつけ加えて少しご説明をさせていただきますと、幼稚園協会では、このアンケートを行うにあたって、保護者一人ひとりに何のためにアンケートをするかということを園でご説明して、説明の中で

是非ご協力して下さいという形で行いました。

抽出した10園、協力していただく10園については、必ず保護者に説明していただくということで、お子様の将来にプラスになるデータとして活用させていただきたいので是非きちんと書いてほしいと。一人ひとり説明しながら、対話をしながら回収したということをつけ加えさせていただけたらと思います。よろしくお願いします。

(渡邊部会長) ありがとうございます。

(蔵屋委員) 資料6で健康寿命の延伸ということで、寿命には平均寿命と健康寿命がありますよね。健康寿命は健全な生活が出来る期間だと思いましたが、その意味で書かれていますか。

(阿部健康支援課長) お元気で健康な状態でいられる期間を延ばそうという事で書いております。

(蔵屋委員) 平均寿命は最近新聞で発表されていますが、男性が滋賀県、女性が長野県で1位ですよ。千葉市を見ると、平均寿命というのは、だいぶ低いんですよ。男性16位、女性20位くらいですよ。平均寿命を延ばそうということが書いてないんですよ。平均寿命はだんだん延びていますからね。平均寿命を延ばすには、食育が大きく関わると思うんですね。1番は健康でしょうけど、2番がバランスの取れた食事となっていますから。平均寿命を延ばすことも、食育とは関連あるかなと思っただけの質問です。健康寿命が入っていることは非常に良いことですが、平均寿命の観点も捉えたらいかかかなと思いました。以上でございます。

(今泉健康部長) 只今のご質問、平均寿命と健康寿命ですね、今回は食育の推進計画なんですけど、先ほどの説明にも出てきましたが、もう少し観点の大きな「健康増進計画すこやか未来都市ちばプラン」というのを今年丁度見直しをしているのですが、その中で中心としている目標というのが、健康寿命の延伸を掲げておまして、平均寿命との関係なんですけど、平均寿命も少しずつ延びていて、健康寿命も延びたり少し下がってしまったりというのがありますが、目標としては健康寿命と平均寿命の差が不健康な期間ですので、この期間を短くしようと考えております。平均寿命の延びを上回るだけの健康寿命を延ばすための取り組みとして食育、食に関わる事も含めて色々計画をしております。

(渡邊部会長) 私から一つ、資料6の3のキーワードで「関係者」というのが分かりにくいので、みんなでつながる食育とか分かりやすい言葉にするのはどうでしょうか。という提案です。それでは、計画期間も引き続き5年ということといたします。新しい基本目標については、まだたたき台ということなので、皆様からの助言をお待ちしております。ご意見ありましたら、3月末までに健康支援課まで連絡をお願いします。

それでは、議題4、その他に移ります。事務局からお願いします。

(阿部健康支援課長) 資料8についてご説明します。国から示された追加された新しい数値目標についてです。昨年度実施した「食に関する実態調査」やその他の調査で把握したものです。例えば、7「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し伝えている割合」とは、具体的には、太巻き寿司のような郷土料理や、箸の持ち方、あいさつなどの作法や、和食を伝えていくことなどを含む幅広い内容で、これらを受け継いでいるか、また伝えているか等、わかりにくく答えにくい設問でした。これらの暫定値を見ると、調査結果が国の目標値を上回るものもありますが、国から示された設問が、わかりにくく主観的であることから、調査結果が安定しにくいことが考えられる為、数値目標としての設定はせず、「取り組み」として行い、今後の国の動向なども考慮して検討していきたいと考えます。

(渡邊部会長) 資料8の第3次計画に向けた暫定値について、ご意見やご質問はありますでしょうか。

(土屋臨時委員) P T Aで学校のアンケートをとると、例えば、宿題についてお母さんは子どもに厳しく回答し、子どもの回答は頑張っていると書きます。同じ質問でも、親と子どもの目線で見ると全然違うんですね。そこには感情、気持ち、質問の読み取り方の違いがあります。どちらが正しいですか？どちらも嘘ではないけど、情報が正しいとは限らない。鵜呑みにして流されるのではなく、60%、80%で満足するのではなく、その数値をはるかに超えないといけないという意識がないといけないと思います。

(渡邊部会長) 回答する人は、それぞれがそれぞれの立場で正確に書いていると思います。本学ではアンケートをとる時には自分の事を正確に書かないと正確に把握できないと教育しています。

資料8の話に戻りますが、7につきましては、「両方できているか？」と思う方もいると思います。ご飯茶碗は左、味噌汁碗は右、お箸の持ち方は出来ているが、郷土料理はできていない場合もありますので難しい質問です。

それでは、今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

(阿部健康支援課長) 今後のスケジュールについて、資料5をご覧ください。

第3次計画策定までのスケジュールを記載しました。次年度は、必要に応じ担当者の打ち合わせを行い、関係課による食育推進連絡会議を2回行います。食育推進部会は、6月と10月頃に2回予定しております。パブリックコメント等庁内の手続を経て、平成31年3月までに策定し、平成31年度からの推進を目指しています。引き続きよろしく願いいたします。

(渡邊部会長) それでは、少しお時間がありますので、事務局から提案のあった第3次計画(案)のキーワード「つながる食育」について、せっかくの機会ですので意見交換や情

報交換ができればと思います。

委員の皆様が、今後食育で連携していきたい関係課や関係団体はありますでしょうか。
食生活改善協議会、坂口さんどうぞ。

(坂口委員) 食生活改善協議会の坂口です。ヘルスマイトの活動の中でこれから更に連携を深めたいのは、幼稚園と高校、現在も、太巻き祭り寿司教室等で連携を行っておりますが、園児や保護者を対象とした活動を増やしていきたいと思います。

また、高校生ですが、若い世代への食育がなかなか難しく、高校生への活動はほとんどできていないので、今後取り組んでいきたいと考えています。高校に入れる道筋をご存知の方はお教えいただきたいと思います。

(渡邊部会長) ありがとうございます。小・中と食育は学校でしていただいているのですが、高校はすっぱり抜けると言われていますよね。千葉県でも今年度、全千葉県内の高校生に食育リーフレットを配ってそういう授業をしてくださいとお願いしております。しかし、なかなか難しいところがあるようなので、ぜひヘルスマイトさんが高校に入れるような、こうしたら良いよという事がある方がいれば、坂口委員にお伝えいただければと思います。

(土屋臨時委員) 資料6の3「生産から食卓までつながる食育」、すごくいいと思うのですが、食品ロスの話も出てますよね。そこまでもつながっていいのではないかなと思いますので、あと一言あってもいいかなと思います。

(渡邊部会長) とても良いご意見ありがとうございます。事務局でご検討いただきたいと思います。

(蔵屋委員) 我々、ボランティア団体で集まって勉強会をやっておりますが、美浜区、稲毛区の健康課から「10食品群チェックシート」を配っていただいて、各自チェックしてくださいと指導がありまして、皆チェックしました。30人くらい参加してますけど。回収しまして健康課に結果を分析して知らせていただきたいとお願いしましたら、10品目のうち一番芋が食べられていなかったという結果で、ご指導いただいております。各健康課でね、栄養士さんにご指導いただいて。地域住民が集まっておりますので更に食育のご指導をいただくようお願いしたいと思います。非常にためになります。参考になりますね。自分が食べてないものが何かというのはチェックしないと分からないので、これからもご指導をお願いしたいという事です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。とてもためになっているという事ですね。

それでは、お時間になりましたので、これで終了とさせていただきます。関係部署や関係団体の皆さまには、今後、第3次計画の策定について、数値目標や取り組みなど、御相談をさせていただくこともありますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の審議を終了させていただきます。皆様方のご協力により、円滑に審議を進めることができました。誠にありがとうございました。

なお、本日の会議の議事録の作成につきましては、事務局及び部会長にご一任願います。

以上で、平成29年度千葉市健康づくり推進協議会 第2回食育推進部会を閉会いたします。

この後は、事務局の方にお返しします。

(三橋健康支援課長補佐) 渡邊部会長ありがとうございました。本日の会議は、これをもって終了となります。次回の食育推進部会につきましては、6月頃、第3次計画の素案について実施予定です。委員の皆様、誠にありがとうございました。

午後2時40分閉会

平成29年度千葉市健康づくり推進協議会 第2回食育推進部会議録を承認します。

署名人 _____ 印

自署または記名捺印